



Yonago East Weekly

「ロータリーに誇りを！ 参加しよう そして、行ってみよう」

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859)32 - 5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
- 会長/木美俊彦 ●幹事/長棟信泰 ●会報/楠 明彦

会員数 92名
(正会員 91名 名誉会員 1名)

今週のお祝い

夫人誕生日: 3日 種田進君 6日 荒川圭三君 23日 江原保君 27日 内田幸男君 30日 杉本真吾君
 結婚記念祝: 2日 野津一成君 10日 井上博吉君、井上雄介君 12日 関充宏君 18日 面谷博紀君 24日 長谷川渉君

会長挨拶

前に剣のことについて話しました。今回は剣の第2弾ということで「間合い」のことについてお話しします。

「間合い」の一番よい距離は、相手に打たれなくて自分が打ちやすい距離ですが、それは長い時間の鍛錬によって会得していくこととなります。「間」という言葉がありますが、これは時間の概念で、タイミングですね。距離という「間合い」を縮めていって、瞬時のタイミングで打ち込むことが重要です。

なぜこういう話をしたかという人間関係もこの「間合い」と「間」が非常に重要だと思われるからです。ヤマアラシのジレンマという寓話があり、寒いからといって余りに寄り添うと、お互い針が突き刺さるので傷つけあうことになるという話です。

人間関係のことを考えるとそのあたりの距離感を作るのが難しいと考えます。剣の間合いと同じで、常に自分で自分を鍛錬していかないと自分の立ち居地がわからなくなります。日頃からそういうことを考えながら訓練していきたいと考えています。

幹事報告

- 12/7 2014-15年度青少年交換派遣学生選考会 (津山国際ホテル) 小土井副委員長出席
- 12/8次期クラブR財団委員長研修会 (益田市立市民学習センター) 小田次期R財団委員長出席
- 2/22~23 中四国3地区合同オリエンテーションのご案内 (倉敷シーサイドホテル)
- ロータリアン配偶者/パートナー奉仕功労賞推薦書式
- 第1回全国RC親睦卓球大会 in 出雲 参加お礼状と写真 (出雲中央RC 大会会長 山代様より)
- 例会変更のお知らせ
米子中央RC 12/19(木) クリスマス例会
ビジター受付あり
鳥取北 12/17(火) 年忘れ家族会 //
- 鳥取・松江東 12/19(木) 夜間例会 //
- 鳥取西 12/20(金) 年忘れ家族会 //
- 米子南・松江南 12/23(月)休会 (法定休日) なし
- 倉吉 12/24(火)⇒12/23(月)忘年家族会 あり
- 倉吉中央 12/25(水)夜間例会 あり

今後の主な予定

- 12/25 休会 (定款第6条)
- 1/1 元旦 休会
- 1/29 クラブ協議会 18:30~
- 2/13 5RC合同例会(夜間例会) ホテルサンルート米子 (2/12振替) (ホスト 米子中央RC)



Engage Rotary, Change Lives
 ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

<プログラム>

「私の職業」

木下栄夫 会員

(大山ロイヤルホテル支配人)



ホテル業界に入ったのは1974年で、新宿の京王プラザホテルからスタートしました。京王プラザホテルは、当時出来て3年目で47階建ての高層ホテルということで注目を浴びたところですが、中国料理のcock希望ということで入ったのですが、フランス料理の配属となりました。長く続けると何とかなるものだなと思っています。

私がこの業界に入ったころの海外のお客様は、ほとんど欧米のお客様でした。360度見渡すと欧米の方々ばかりの環境で、いやでも英語ができるようになります。20代のころに社会的に地位の高い方々とお会いしてお話できたというのもこの業界にいたからこそであり、そういう方々から育てていただいたなと思っています。

ちなみに京王プラザホテルは新日本プロレスの常宿になっていました。猪木さん、馬場さん、アンドレ・ザ・ジャイアントなどリング場とは違った一面があります。高倉健さんが泊まっておられるとき、若輩だった私のような者にも気さくで細かい気配りしてくれました。勉強になりました。

ホテルというのはコミュニケーションの場所、いろいろな方の集まりというのが基本であろうかと思えます。人の浮き沈みもよく見えてきました。世代を超えて何代ものお付き合いというのもあります。そういう意味では人生の思い出づくりといった部分で、大切な役割をしているのではないかなと思っています。これからはこの地域の食文化、おもてなしの文化を私なりによい方向で伝えられたらなと思っています。

「つぶやき」

野坂裕一 会員



今、産業人材育成センターなどの講師をしまして、そこで若い子のリサーチをしています。毎日見ているものは新聞、テレビではなくほとんどがネットです。

今の若い子は、ネットで新聞を読み、テレビを見て、今あった情報を今知っています。私はそんな中で、フェイスブックというのをしています。写真を入れることも、文字も打つことができませんでしたが社員に教えてもらいながら、始めたのが3年前です。

情報の先取りができますし、そこで何か自分からも発信しようと思い毎日「つぶやき」を発信しています。妻にはフェイスブックと結婚したらと怒られたので、今ではフェイスブックをしていないことになっています。皆さんこのことは内緒でお願いします。

今ではこの「つぶやき」は、はじめてから今まで10万人弱の方々をご覧になって頂いているようです。